



文部科学省受託事業「スポーツにおけるボランティア活動活性化のための調査研究」

スポーツボランティア養成プログラム

近年、東京マラソンを契機にスポーツボランティアが広く社会に認知されるようになり、全国各地で開催されるスポーツイベントの成否にスポーツボランティアの活動が大きく影響を与えるようになりつつあります。

岡山県は、全ての県民が生涯にわたりスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支えるというスポーツ活動に参加できる環境を整備する「スポーツ立県おかやま」の実現に向けた取り組みが行われております。

このたび、文部科学省受託事業として、今年度岡山県において、スポーツボランティアの養成、そしてスポーツボランティアのシンポジウムを行い、募集・養成・普及等の一連の事業を行い、他県でも参考になる事例として開催いたします。それぞれ特徴のあるプログラムを開催いたしますので、受講条件などをご確認の上、ご参加ください。

1. 講習会の開催

本講習会は「スポーツボランティアのやりがいや楽しみ方を知る」から「ボランティア組織のサポート知識」まで、ステップアップ形式の4つのプログラムで構成されており、岡山県では2つのプログラムを開催します。

1つ目のスポーツボランティアの基礎となるスポーツボランティア研修会を修了した方は、次のスポーツボランティア・リーダー養成研修会を受講資格の一つを満たすこととなります。

(1) スポーツボランティア研修会

スポーツボランティア活動の『やりがい』や『楽しみ方』を知る内容です。

(2) スポーツボランティア・リーダー養成研修会

一般のボランティアの方と共に、楽しく充実した活動をするためのリーダーシップを学ぶ内容です。



2. シンポジウムの開催

スポーツボランティアへの関わり方は、種目や役割など多種多様です。また「ボランティア個人」「ボランティア組織」「ボランティアを必要とする団体」と立場も異なります。スポーツボランティアに関わるそれぞれの立場の人が一堂に会し、活動報告や意見交換を行うことで、これからのスポーツボランティアのあり方を見出し、広く社会に発信します。

(1) スポーツボランティアシンポジウム2014in岡山

スポーツボランティアの可能性について、事例報告や参加者同士での意見交換を行い、市民が主体となるスポーツボランティアのあり方について理解を深めます。



(主催) 特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク(JSVN)

開催日程は裏面をご参照ください

スポーツボランティア養成プログラム

1. 講習会の開催

(1) スポーツボランティア研修会

2014年8月10日(日) 13:00-16:00

場所: 岡山大学(岡山市北区津島中1-1-1)

2014年9月21日(日) 13:30-16:30(※)

場所: きらめきプラザ(岡山市北区南方2-13-1)

(※)主催: スペシャルオリンピックス日本(JSVN正会員)

参加費: 1,500円

定員: 70名(先着順)

受講資格: 中学生以上

【主な講習内容】

1. スポーツボランティアについて
スポーツ及びボランティアの定義
スポーツボランティアの統計
様々なスポーツボランティアの活動紹介
障害のある人のスポーツ 等
2. コミュニケーションスキルについて
アイスブレイク、グループワーク 等

(2) スポーツボランティア・リーダー養成研修会

2014年12月7日(日) 10:00-16:30

場所: 岡山大学(岡山市北区津島中1-1-1)

参加費: 3,000円

定員: 50名(先着順)

受講資格: スポーツボランティアの活動経験がある高校生以上で、スポーツボランティア研修会を修了した者。

【主な講習内容】

1. ボランティア・リーダーについて
ボランティアにおける立場の認識
リーダーの役割・心得・やりがい
障害者と健常者のコミュニケーション
2. 理論
これまでのスポーツ政策
リーダーシップとは
リーダーのためのリーダーシップ 等
3. コミュニケーションスキルについて
アイスブレイクの理論と実践 等

【講師】(予定)

宇佐美 彰朗 日本スポーツボランティア・アソシエーション 理事長、東海大学 名誉教授
東 正樹 スポーツボランティア東京 代表、総合子供の遊び情報研究所 代表
園部 さやか スペシャルオリンピックス日本 プログラム推進チームリーダー

2. シンポジウムの開催

(1) スポーツボランティアシンポジウム2014in岡山 2014年12月下旬

場所: 岡山大学(岡山市北区津島中1-1-1)

参加費: 無料

定員: 70名(先着順)

受講資格: なし

【開催テーマ】

スポーツイベントを成功させる
ために私たちができること

【プログラム】

基調講演・グループワーク(予定)

申込: ホームページにて(登壇者プロフィールなど詳細を掲載)

募集開始: 開催日の3ヵ月前

主催: 日本スポーツボランティアネットワーク(JSVN)

共催: 笹川スポーツ財団 協力: 岡山県体育協会



特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク
〒107-6011 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル11階 笹川スポーツ財団内
TEL: 03-5545-3301 FAX: 03-5545-3305
Email: info.jsvn@gmail.com <http://blog.canpan.info/jsvn/>

スポーツにおけるボランティア活動活性化のための調査研究

参考資料2

【背景】 スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を実現するため、各人がその自発性のもとに、ボランティア活動を通じてスポーツを支えていくことが不可欠。

【課題】 我が国のスポーツにおけるボランティア活動の実施割合は、直近10年間は7%～8%で推移しており、その活用は十分ではない。

(スポーツライフ・データ2012 (公財) 笹川スポーツ財団)



【事業内容】 スポーツ(障害者スポーツを含む)におけるボランティア活動の担い手(個人や組織・団体)の要件を整理し、活動の活性化のための今後の方向性と「支えるスポーツ」の推進のための具体的方策を取りまとめることによって、一体感や活力あるスポーツ立国の実現のための環境整備に資する。

「個人」の 活性化

「個人」の活動実態調査

スポーツにおけるボランティア活動を実施している「個人」を対象にアンケートやヒアリング調査

- ① 活動場面や役割に求められるスキルや人材像
- ② 全国のスポーツイベントや大会での研修会や継続活用における共通課題

クラブ・団体 ボランティア (クラブ、スポーツ団体)	ボランティア指導者 (スポーツ指導者、指導者アシスタント)
	運営ボランティア (クラブ役員、世話役、運搬・運転、競技団体役員等)
イベント ボランティア (国際的・全国的スポーツ大会)	専門ボランティア (審判員、通訳、図解解説、データ処理等)
	一般ボランティア (給水・給食、受付・案内、記録・掲示、交通整理、運搬・運転、ホストファミリー等)

「組織・団体」の 活性化

「組織・団体」の活動実態調査

ボランティア団体やボランティアバンクについての活動実態調査やトライアル事業による「組織・団体」の活性化具体策の提示

- ① 活動継続のための課題を抽出
- ② トライアル事業 人材と活動のマッチング手法、スポーツイベントからの登録者拡大やボランティア団体創設

先進事例調査

海外における先進事例調査

- 国際競技大会におけるスポーツボランティアに関する大会期間中のマネジメントや大会後の活動状況などを調査(アメリカ、イギリス等)

大会・イベントや 地域スポーツ活動での 活用と活性化

ガイドブック(※)の作成・配布

ボランティア活動関連団体や地方公共団体が抱える共通課題の解決策として活用可能なガイドブックを作成・配布

- ① 各団体での課題の解決策を共有
- ② スポーツにおけるボランティア活動の担い手を繋ぐための具体的方策を提示

(※) ガイドブック(参考書)

《内容例》

- ・スポーツにおけるボランティア活動の分類
- ・各分類の活動概要、役割、人材像、スキル体系
- ・スポーツイベントにおける研修プログラム、イベントマネジメント

活用

一体感や活力あるスポーツ立国を実現